



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 ユニプレス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5949 URL https://www.unipres.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)浦西 信哉
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)斉藤 直樹 (TEL) (045) 470-8631
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	133,174	11.6	△2,771	—	△1,412	—	△1,839	—
2022年3月期第2四半期	119,327	35.6	△7,952	—	△7,216	—	△7,775	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 16,877百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 257百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△41.24	—
2022年3月期第2四半期	△172.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	321,373	151,324	42.3
2022年3月期	302,585	135,875	40.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 135,830百万円 2022年3月期 122,822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	10.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	314,000	23.4	3,000	—	5,300	—	2,500	—	56.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	47,991,873株	2022年3月期	47,991,873株
2023年3月期2Q	3,525,165株	2022年3月期	3,020,693株
2023年3月期2Q	44,607,649株	2022年3月期2Q	44,971,366株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は、半導体の世界的な供給不足による得意先の減産の影響は残っているものの、為替影響による増加があったことにより、売上高は1,331億円（前年同期比138億円増、11.6%増）、営業利益は27億円の損失（前年同期は79億円の損失）、経常利益は14億円の損失（前年同期は72億円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億円の損失（前年同期は77億円の損失）となりました。

なお、今後の生産状況につきましては、半導体供給不足の影響が依然不透明な状況はあるものの、新車部品立上げとその量産効果が期待されており、当社グループの販売状況の更なる回復が見込まれております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

売上高は426億円（前年同期比128億円増、42.9%増）となったものの、セグメント損益（営業損益）は新車部品立上げ準備費用等の負担があったこと等により22億円の損失（前年同期は31億円の損失）となりました。

② 米州

為替影響等により、売上高は368億円（前年同期比21億円増、6.3%増）となり、セグメント損益は合理化効果等により8千万円の損失（前年同期は22億円の損失）となりました。

③ 欧州

為替影響等はあったものの金型・設備の販売減少により、売上高は171億円（前年同期比17億円減、9.5%減）となり、セグメント損益は合理化効果等により3億円の損失（前年同期は27億円の損失）となりました。

④ アジア

得意先の減産影響はあったものの為替影響等により、売上高は365億円（前年同期比6億円増、1.8%増）となり、セグメント損益は1億円の利益（同8億円減、84.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が28億円減少したものの、現金及び預金が62億円、棚卸資産が60億円、有形固定資産が34億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ187億円増の3,213億円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金が27億円減少したものの、長短借入金が26億円、その他流動負債が52億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ33億円増の1,700億円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと及び配当金の支払いにより利益剰余金が22億円減少したものの、為替換算調整勘定が159億円、非支配株主持分が24億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ154億円増の1,513億円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.7ポイントプラスの42.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失の計上、仕入債務の減少、法人税等の支払等があったものの、減価償却費の計上及び売上債権の減少等により95億円の収入（前年同期比52億円の収入増）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資等により34億円の支出（前年同期比71億円の支出減）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金及びリース債務の返済並びに自己株式の取得等により51億円の支出（前年同期は65億円の収入）となりました。

これらに為替変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ62億円増の370億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表しております「2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,798	37,079
受取手形及び売掛金	51,410	48,594
棚卸資産	28,463	34,508
その他	14,401	17,327
貸倒引当金	△0	△169
流動資産合計	125,073	137,340
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	40,559	43,354
機械装置及び運搬具（純額）	66,021	72,868
土地	7,391	8,081
建設仮勘定	22,555	14,870
その他（純額）	13,231	13,989
有形固定資産合計	149,759	153,164
無形固定資産	6,172	6,783
投資その他の資産		
投資有価証券	7,219	7,471
その他	14,365	16,618
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	21,579	24,085
固定資産合計	177,512	184,033
資産合計	302,585	321,373
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,344	36,635
電子記録債務	2,469	2,290
短期借入金	51,349	59,885
未払法人税等	903	475
賞与引当金	2,650	2,216
訴訟損失引当金	94	68
その他の引当金	78	46
その他	17,642	22,924
流動負債合計	114,533	124,544
固定負債		
長期借入金	34,524	28,660
関係会社整理損失引当金	1,569	1,029
その他の引当金	145	158
退職給付に係る負債	6,188	6,457
その他	9,749	9,198
固定負債合計	52,177	45,505
負債合計	166,710	170,049

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,168	10,168
資本剰余金	13,457	13,398
利益剰余金	108,380	106,090
自己株式	△5,023	△5,398
株主資本合計	126,983	124,259
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	978	843
為替換算調整勘定	△2,066	13,903
退職給付に係る調整累計額	△3,073	△3,176
その他の包括利益累計額合計	△4,161	11,570
非支配株主持分	13,052	15,494
純資産合計	135,875	151,324
負債純資産合計	302,585	321,373

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	119,327	133,174
売上原価	115,197	123,447
売上総利益	4,129	9,726
販売費及び一般管理費	12,082	12,498
営業損失(△)	△7,952	△2,771
営業外収益		
受取利息	246	626
受取配当金	15	79
為替差益	239	383
受取賃貸料	211	230
補助金収入	645	543
関係会社整理損失引当金戻入額	38	539
その他	174	103
営業外収益合計	1,570	2,506
営業外費用		
支払利息	423	702
貸与資産減価償却費	159	170
持分法による投資損失	126	128
その他	125	146
営業外費用合計	833	1,147
経常損失(△)	△7,216	△1,412
特別利益		
固定資産売却益	17	37
特別利益合計	17	37
特別損失		
固定資産処分損	120	31
訴訟関連損失	—	14
特別損失合計	120	46
税金等調整前四半期純損失(△)	△7,319	△1,421
法人税等	19	△46
四半期純損失(△)	△7,338	△1,374
非支配株主に帰属する四半期純利益	437	464
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,775	△1,839

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△7,338	△1,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111	△124
為替換算調整勘定	7,657	18,233
退職給付に係る調整額	△251	△102
持分法適用会社に対する持分相当額	77	246
その他の包括利益合計	7,595	18,252
四半期包括利益	257	16,877
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△951	13,892
非支配株主に係る四半期包括利益	1,208	2,985

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△7,319	△1,421
減価償却費	9,958	11,295
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△349	△539
受取利息及び受取配当金	△262	△706
支払利息	423	702
持分法による投資損益 (△は益)	126	128
固定資産処分損益 (△は益)	103	△5
売上債権の増減額 (△は増加)	8,983	7,606
棚卸資産の増減額 (△は増加)	7,555	1,412
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,580	△8,599
未払金の増減額 (△は減少)	△2,565	△253
その他	1,648	795
小計	11,720	10,413
利息及び配当金の受取額	270	732
利息の支払額	△423	△702
法人税等の支払額	△7,218	△849
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,349	9,594
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,642	△3,344
有形固定資産の売却による収入	262	158
無形固定資産の取得による支出	△100	△316
関係会社貸付けによる支出	△219	△454
関係会社貸付金の回収による収入	106	507
その他	△16	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,610	△3,496
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10,985	452
長期借入れによる収入	19,905	37
長期借入金の返済による支出	△633	△3,047
リース債務の返済による支出	△982	△1,052
自己株式の取得による支出	—	△500
配当金の支払額	△449	△449
非支配株主への配当金の支払額	△270	△544
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,584	△5,103
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,299	5,288
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,622	6,281
現金及び現金同等物の期首残高	23,453	30,798
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,075	37,079

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月17日開催の取締役会決議に基づき、自己株式585,200株を取得し、また譲渡制限付株式報酬として自己株式80,888株の処分を行いました。この取得及び処分等により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が375百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末の自己株式は5,398百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(米国会計基準ASU第2016-02号「リース」の適用)

米国連結子会社において、第1四半期連結会計期間より、米国会計基準ASU第2016-02号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	29,830	34,615	18,949	35,932	119,327	—	119,327
セグメント間の内部売上 高又は振替高	18,337	13	1	462	18,814	△18,814	—
計	48,168	34,629	18,950	36,394	138,142	△18,814	119,327
セグメント利益又は損失 (△)	△3,184	△2,245	△2,720	1,042	△7,108	△843	△7,952

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△843百万円は、のれんの償却額△65百万円及びセグメント間取引消去△778百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	42,635	36,805	17,157	36,575	133,174	—	133,174
セグメント間の内部売上 高又は振替高	6,828	4	1	292	7,126	△7,126	—
計	49,464	36,810	17,158	36,868	140,300	△7,126	133,174
セグメント利益又は損失 (△)	△2,279	△89	△381	163	△2,586	△185	△2,771

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△185百万円は、のれんの償却額△68百万円及びセグメント間取引消去△116百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。